



2026年2月13日

各 位

会社名 ベルトラ株式会社

代表者名 代表取締役社長兼CEO 二木 渉

(コード番号: 7048 東証グロース)

問合せ先 取締役CFO 皆嶋 純平

(TEL. 03-6823-7999)

中期経営計画の取り下げに関するお知らせ

当社は、2026年2月13日開催の取締役会において、2025年2月14日に公表いたしました中期経営計画（2025年-2027年）を取り下げ、事業環境の変化に即応し単年度ごとの予算精度を高める機動的な経営運営へ移行することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 中期経営計画取り下げの理由

当社は、主力である海外旅行（アウトバウンド）市場の回復を前提とした中期経営計画を推進してまいりました。しかしながら、円安の長期化や物価高騰に伴うアウトバウンド市場の回復遅延に加え、AI技術の進化等による事業環境の急激な変化に直面しており、3年先の事業環境を固定的に予測することが困難な状況が続いております。

そのような事業環境のもと、2025年12月期におきましては、海外旅行事業における収益獲得に当初計画との間で乖離が生じ、様々な費用抑制に取り組んだものの、2025年11月14日に2025年12月期業績予想の修正を行いました。

一方で、抜本的な構造改革によるコスト削減と生産性向上により、2025年12月期において5期ぶりの通期黒字化（営業利益1億5百万円）を達成いたしました。特にOTA事業におきましては、営業利益率が23.2%（前年比12pt増）へ向上し、連結子会社であるリンクティビティ株式会社が展開する観光IT事業につきましても、営業収益が前年比24.0%増と、事業ポートフォリオの質的転換が進んでおります。

以上の状況を総合的に勘案し、固定的な3ヶ年計画を維持することは実態との乖離を招く恐れがあると判断し、今後は、強化された収益基盤を元に「足元の確実な利益積み上げ」と「単年度予算の必達」にコミットする経営スタイルへ移行することといたしました。

2. 今後の経営方針

新たな計画策定方針としまして、今後は単なる売上規模（流通総額）の追求による量的拡大から利益率向上のための効率化、適切な事業ポートフォリオの構築による質的成長への変革を図るべく、以下の3点を重点方針として推進してまいります。

(1) 機動的な経営判断： 経営戦略を3年に固定せず、最新の事業環境を反映した業績予想と

その達成を最重視

- (2) 高収益体質の維持・強化： OTA 事業における「選択と集中」を進め、高い利益率を維持
- (3) 成長分野への投資集中： インバウンド需要を取り込む観光 IT 事業（リンクティビティ）およびクルーズ事業を始めとする新規領域へ経営資源を重点配分

3. 今後の業績見通しについて

2026 年 12 月期の通期業績予想につきましては、本日公表の「2025 年 12 月期 決算短信」をご参照ください。

計画の形式は見直しとなります。中長期的な企業価値向上へのコミットメントに変更はございません。実効性と透明性の高い経営を通じて、持続的な株主価値の最大化に努めてまいります。

以上